

エレクトロニクス部会ニュース No.7

・平成21年8月10日(月)

部会ニュース No.7 をお届けします。内容は**次回幹事会**のご案内、**8月6日(木)開催幹事会**の議事概要、および8月7日(金)開催の**シンポジウム**の報告です。

8月6日幹事会の主な議事内容は、**新賛助会員**、**部会継続審査結果**、**化工誌の部会紹介記事**、**産学官連携研究開発プロジェクトWG**、**部会総会**、**マイクロプロセッシング研究討論会**等についてです。

(1) 平成21年度第4回幹事会

標記会議を次の要領で開催します。どなたでも出席できますので、どうぞご出席ください。

1. 日時：平成21年11月4日(水) 14:00~17:30
2. 場所：住友ベークライト(株)会議室
3. 議題：化工誌の部会紹介記事
産学官連携研究開発プロジェクトWG
部会総会
マイクロプロセッシング研究討論会 等

(2) 平成21年度第3回幹事会

標記会議を8月6日(水)、住友ベークライト(株)にて開催しました。主な議事内容は次の通りです。

1. 新賛助会員

日産化学工業(株)、**(株)クラレ**、**パナソニック電工(株)**の3法人が新しくエレクトロニクス部会の賛助会員になりました。

2. 「平成21年度第1回部会CT・部会長合同委員会」報告

羽深部会長より、6月4日(水)開催の標記委員会について報告がありました。

①部会活動の理事会への報告

エレクトロニクス部会の報告は平成22年度中に実施される予定。

②年度計画書の提出

年会時の会員総会の資料にするとのこと。

3. 電子S I 連絡協議会報告、

横澤幹事より、電子S I 連絡協議会の平成20年度の収支報告書、21年度の予算案について報告がありました。

21年度は負担金を徴収しないとのこと。また、(社)日本半導体製造装置協会が電子S I 連絡協議会から脱退したとのこと。

4. 部会継続審査結果

7月29日開催の化学工学会理事会で、**当部会の継続が承認されました**。ただし、「部会ニュース、レターなど部会活動の状況を広く会員に知らせるために、定期的な発行に向けた取り組みを計画してもらいたい。」というコメントが付けられていました。

(部会ニュース担当より：上記のコメントを普通に読めば、今担当しているこの部会ニュースの内容では、「部会ニュース」として認めてもらえなかったということになります。担当者としてどのようにすればよいのか、途方に暮れています。事務局宛て、ご意見、ご助言をお寄せ頂きますようお願い申し上げます。)

5. 化工誌の部会紹介記事

はばき幹事より、7月開催の化工誌編集委員会の報告として、化工誌にエレクトロニクス部会の紹介記事を掲載するかどうかを検討していただきたいとの要望がありました。

検討の結果、単発か連載かは別にして、まず化学工学とエレクトロニクス部会との関係およびエレクトロニクス部会の通常の活動状況を主体に、魅力的な紹介記事を近藤幹事が執筆するということになりました。

6. 産学官連携研究開発プロジェクトWG

近藤幹事、羽深部会長より、科学技術推進機構のA-STEPプロジェクト、NEDOのナノテク・先端部材実用化研究開発のプロジェクト等に申請する案を作ることを目的にした「産学官連携研究開発プロジェクト申請のWG」を設立してはどうかという提案があり、了承されました。例として、『超高密度三次元実装の本格的実用化』、『実装用機能表面形成』の案が挙げられました。

7. 部会総会(資料1)

今までの部会は本年12月で終了して、来年1月から新部会に継続することになりました。一つの区切りでもありますので、12月2日(火)16:00(変更の可能性あり)より資料1に示す要領で部会総会を開催する予定です。ご予約に入れておいて下さい。

8. マイクロプロセッシング研究討論会

荻野幹事より、エレクトロニクス部会員、特に産側の部会員も気軽に参加できるような研究会として、ディスカッション主体(別名：ワイワイガヤガヤ形式)の『マイクロプロセッシング研究討論会』の開催が提案され、了承されました。講演者は、微細加工技術に関連する化学工学的な研究を行っている部会員が中心です。

少し大きな目標としては、『高密度3次元LSI製造技術の高度化』あるいは『高密度3次元実装技術の高度化』が考えられます。

資料1

部会総会－新部会に向けて

日時 平成21年12月2日(火) (変更の可能性あり)

場所 住友ベークライト株式会社

次第 司会：近藤和夫

16:00-16:10	挨拶	守谷恒夫
16:10-16:25	活動報告	荻野文丸
16:25-16:40	新部会の活動計画	羽深 等
16:40-16:50	経理報告・経理計画	老田尚久
16:50-17:20	講演『プリント配線板のエッチング技術』	石井正人
17:30-19:30	懇親会	

(3) シンポジウム「新エネルギー開発における電池と材料の動向」

8月7日(金)、東京工業大学に於いて標記シンポジウムが開催されました。最新の電池に関するプロセスと材料の最先端の開発動向について、各専門家に講演して頂きました。参加者は約80名で、127ページの資料が配布され、産学協同のシンポジウムとして活発な討論が行われました。

講演題目と講演者は次の通りです。

- ・「金属支持固体酸化物燃料電池と2次電池開発の現況(基調講演)」
石原 達己(九州大学工学研究院)
- ・「車載駆動用二次電池の技術開発の最前線」
辰巳 国昭(産業技術総合研究所)
- ・「ニッケル水素電池、リチウムイオン電池の正負極活物質の特徴、課題、開発動向」
安田 清隆(三井金属鉱業株式会社)
- ・「日産自動車における最新の燃料電池自動車の現状と展望—低コスト課題への挑戦」
金坂 浩行(日産自動車株式会社)
- ・「色素増感太陽電池の開発動向～現状と問題点」
原 浩二郎(産業技術総合研究所)
- ・「シリコン系ならびにCu(InGa)Se₂系薄膜太陽電池開発—超高効率化への挑戦」
小長井 誠(東京工業大学理工学研究科)

以上